

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課	担当課評価	
					文化財保護課	B	
施策の内容	・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 ・市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。						
前年度の改善の方策等	文化財指定については、昨年度行った文化財調査をさらに継続して精査するとともに、文化財保護審議会に上がった新指定文化財候補について新たに調査を始めます。						
平成29年度実績	・指定文化財数 265件 ・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:5件(前年度比±0) 試掘調査件数:80件(前年度比87%) ・その他文化財調査件数 21件(前年度比162%)						
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29			
	文化財調査件数(件)	11	13	21			
指標及び説明	【指標】 文化財数	【説明】 市・県・国指定等文化財数					
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値				目標値 (H32)
	件	264	H27 266	H28 265	H29 265	H30 H31 H32	276
現状・課題	指定文化財数は265件と変更ありませんが、市指定文化財2件が新たに県指定文化財に指定されました。埋蔵文化財の発掘調査は前年度比±0、試掘件数は前年度比87%に減少しました。なお、その他の文化財調査件数は前年度比162%に増加しています。						
改善の方策等	文化財指定については、文化財保護審議会に上がった新指定文化財候補の調査を進めていきます。						

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。					
前年度の改善の方策等	毎年行われる啓発行事をさらに充実させるとともに、公民館や学校教育への講師派遣に努めていきます。					
平成29年度実績	・遺跡発表会参加者数:70人(前年度比117%) ・文化財防火訓練参加者数:中止(大雪の影響) ・職員の講師派遣件数:24件(前年度比150%)					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	遺跡発表会参加者数(人)	69	60	70		
	職員の講師派遣件数(件)	4	16	24		
現状・課題	毎年行っている遺跡発表会の参加者は、ほぼ横ばいで推移しています。今年度は大雪の影響で文化財防火訓練は中止になりました。また、公民館等の講座に出向き講師を務めるなど文化財保護意識の向上を図りました。					
改善の方策等	啓発事業の内容をさらに充実させるとともに、公民館や学校教育への講師派遣に努めます。					

【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	担当課		担当課評価
		文化財保護課		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 ・後継者育成を積極的に支援します。 			
前年度の改善の方策等	今後保存団体にアンケートを取るなどして現状を把握し、その後、保存団体に事情聴取し、個々の保存団体に寄り添った支援を行っていきます。			
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗文化財保存修理件数:1件(前年度比33%) ・後継者養成事業実施団体数:17団体(前年度比113%) 			
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29
	民俗文化財保存修理件数(件)	6	3	1
	後継者養成事業実施団体数(件)	16	15	17
現状・課題	指定文化財については、後継者養成や使用する道具の修理などに補助金を支出し、支援しています。現在、高齢化や少子化などの影響で、地域の伝統的な祭りや芸能の継承は困難な状況です。			
改善の方策等	平成29年度のアンケート調査結果をもとに、保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点などを把握し、個々の団体の実情に応じた対応を検討していきます。			

細 施 策	④有形文化財の保存と活用	担当課		担当課評価
		文化財保護課		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 ・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 			
前年度の改善の方策等	永島家住宅(旧武家屋敷)については、平成29年度より毎月1回から毎週土曜日に公開日を増やします。また、市制施行100周年記念「川越市の文化財」改訂事業を始める予定です。これにより、すべての指定文化財の現況を把握するカルテを作成するため、長期的な保存修理事業を計画できます。			
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保存事業実施件数:25件(前年度比±0%) ・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数:2,694人(前年度比121%) ・埋蔵文化財出土品貸出件数:9件(前年度比69%) 			
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29
	指定文化財保存事業実施件数(件)	29	25	25
現状・課題	指定文化財の所有者・管理者と協力して、文化財を後世に残すために適切な維持管理や、保存修理事業を実施し、公開に努めています。文化財の管理には、経年劣化や突発的な災害等などの要因で急ぎょ修理事業が必要になるので、長期的な計画を立てることが困難です。平成29年度から毎週土曜日の公開を始めた永島家住宅については、見学者数が前年度比121%になりました。			
改善の方策等	市制施行100周年記念として「川越市の文化財」改訂事業を始めます。この事業ではすべての指定文化財の現況を把握するカルテを作成するため、長期的な保存修理事業を計画できます。また、永島家住宅に関しては、さらに見学者を増やすために、活用方法を検討します。			

【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。 ・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。 								
前年度の改善の方策等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修理事業(国庫補助対象)／長谷川家住宅土蔵:解体工事、屋根工事・木工事・左官工事・板金工事等の一部 星野・田中両家住宅店棟:小屋組の修繕、屋根葺き替え等 金大土蔵:屋根葺き替え 宮岡家住宅店蔵及び土蔵:(店蔵)屋根漆喰・外壁の修理、(土蔵)けらば漆喰・外壁水切の修理 市ノ川家住宅主屋:屋根葺き替え ・伝統的建造物の追加特定／勝冶家住宅主屋、齊家住宅主屋 ・地区の啓発パンフレット作成／伝建地区の概要、伝統的建造物MAP 								
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)
指標の推移			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	件	57	61	64	69				76
現状・課題	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。								
改善の方策等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用							担当課	担当課評価
								文化財保護課	B
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。								
前年度の改善の方策等	河越流鏝馬を含む活用事業の見直し、用地買収に関わる地権者との協議及び整備計画の検討を行います。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・河越館跡史跡公園の歴史の理解と、活用を目的としたイベント「河越流鏝馬」と並行して、流鏝馬をPRする写真パネル展示を期間限定で西文化会館で実施。また、「河越流鏝馬」の当日、会場内で解説員が説明する展示ブースを開設しました。(1件) ・未取得地の買収に向けて、地権者と協議を行いました。(5回) 								
成果実績	項目名(単位)		H27	H28	H29				
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)		30.4	30.4	30.4				
	河越流鏝馬見学者数(人)		1,900	4,500	2,200				
現状・課題	今年度の河越流鏝馬は、悪天候の影響で見学者は半減しましたが、平成23年度から継続して実施しており、河越館跡を周知するという目標は達成されています。今後の課題は活用をさらに促す企画が必要です。また、未買収地の取得については、今後も関係者と協議を進めていく必要があります。								
改善の方策等	市民の活用を促すために、HPなどを通じて利用案内を広く周知するとともに、これまで以上に活用できるような事業の創出、及び用地取得に向けて関係者との協議や整備計画の検討を行います。								

【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備			担当課	担当課評価
				文化財保護課	B
施策の内容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。				
前年度の改善の方策等	発掘調査の出土品、図面整理を速やかに行い、総括報告書を刊行します。				
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 山王塚古墳の石室の構造、規模、素材を確認するために、トレンチ(試掘坑)を設定し、発掘調査を実施しました。 石室の側壁や床を確認し、石室の幅や、遠方から石材を搬入したことが判明しました。また、掘削土のフルイがけを実施し、副葬品(ガラス玉)を検出しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29	
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	2	2	1	
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	388	120	698	
現状・課題	国指定史跡を文化庁に意見具申するための前提となる発掘調査については、平成29年度で終了し、古墳の規模や構築年代等が明らかとなっています。今後は発掘調査から山王塚古墳の価値について多面的に論じた、国に提出する総括報告書の提出が必要になります。				
改善の方策等	発掘調査の出土品、図面整理を速やかに行い、総括報告書を刊行します。				

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱	(1)文化財の保護				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化財指定等による保護	文化財保護課	B	B	
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	B		
⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	B			
学識経験者意見等	<ul style="list-style-type: none"> 職員だけではなく文化財保護審議会の委員の方にも、講師として公民館や学校へ出向いていただけるとよいと考える。 				

【施策の柱】 (2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
前年度の改善の方策等	文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								
平成29年度実績	市民や市民団体等と連携・協働し、①川越市民文化祭、②川越市総合文化祭、③2音大クラシック・コンサート、④川越市美術展覧会、⑤大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、⑥小江戸川越第九の会 第九演奏会、⑦高校生小説大賞、⑧文芸川越の発行等の文化芸術事業を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
	指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値				目標値 (H32)	
	件	7	H27 8	H28 9	H29 8	H30	H31	H32	10
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体をはじめ、高校・大学等の学校や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。 市内外への周知が図られ、恒例化・定着化してきている事業も多く、事業数はおおむね順調に推移しています。 								
改善の方策等	引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。								
前年度の改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 尚美学園大学、東邦音楽大学と連携して、「2音大クラシック・コンサート」を開催しました。 高校生を対象とした「高校生小説大賞」を実施しました。 「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定するとともに、学生奨励賞を授与しました(3点)。 								
成果実績	項目名(単位)		H27	H28	H29				
	2音大クラシック・コンサートの入場者数		856	1,113	691				
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 2音大クラシック・コンサートは、2大学の協力とともに、低廉な入場料設定や高校生以下の招待などにより、事業の目的達成を推進していますが、当日悪天候であった平成29年度は、招待来場者数の大幅な減がありました(事前配布枚数462枚に対し回収171枚)。 高校生小説大賞は、年度により応募作品数に増減がありますが、おおむね順調に進捗しています。 川越市美術展覧会は、学生の出品点数(33点、前年比6点増)が増加しており、順調に進捗しています。 								
改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	B	B	B
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	B		
学識経験者等 意見	・川越にゆかりのある芸術家にプロデュースを依頼して、川越のまちをフィールドとした、特に若手の芸術家が参加できる総合芸術祭を企画できるとよいと考える。				

【施策の柱】 (3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。 市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。 			
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。 文化芸術メールを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。 			
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ウェスタ川越大ホール等において、指定管理者がオーケストラ公演等の鑑賞事業や、市民参加型演奏会・講習会・コンテストなどの普及・参加・交流事業を、市の提案事業として実施しました。 市の主催事業をはじめとする文化芸術のイベント・講座情報を、「市内文化施設イベント情報」(市HP)や「文化芸術メール」(小江戸川越メール配信サービス)により発信しました。 			
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	—	96.5	98.0
	文化芸術メール配信数(件)	108	294	164
現状・課題	文化芸術メール配信数は昨年と比較して減少しておりますが、文化芸術振興施設提案事業満足度は、高い水準を保ち、おおむね順調に推移しています。			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。 文化芸術メールを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。 			

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課		A
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。			
前年度の改善の方策等	アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。			
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～」として、小学校12校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。 人材発掘については、「人材発掘公開オーディション」を開催し、2組を合格者として、今後2年間市内小学校にアウトリーチ派遣することとしました。 			
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29
	アウトリーチ実施校数(校)	5	7	12
現状・課題	アウトリーチ実施校数は増えており、順調に進捗しています。			
改善の方策等	引き続きオーディションを実施し、アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。			

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	B	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	・アウトリーチによる音楽鑑賞会は各学校で行っている芸術鑑賞会と類似の事業なので、まとめて実施したほうがわかりやすいと考える。				

細 施 策	①文化芸術活動への支援				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実を図ります。 文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。 					
前年度の改善の方策等	若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。					
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市民文化祭や川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等を継続して開催するとともに、文芸川越第38号を刊行しました。 文化スポーツ顕彰のうち、文化賞は該当者なしでした。 					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	市民文化祭の事業数(件)	27	26	26		
現状・課題	市民文化祭については、主催団体の1つが会員の高齢化を理由に解散し、結果的に1事業減ることとなりました。市民文化祭だけでなく、他団体でも高齢化が進んでいるため、若い世代への参加を呼びかける必要があります。					
改善の方策等	引き続き、若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。					

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備				担当課	担当課評価	
					文化芸術振興課	B	
施策の内容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウエスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。						
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利用者数が増加するよう、施設の利用促進に努めます。 老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。 						
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ウエスタ川越大ホールの稼働率は、前年度からさらに上昇し、順調です。 文化会館の利用者数は、西文化会館のホール閉館(2月)などの要因もあり、前年度より減少しています。 						
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29			
	ウエスタ川越大ホール区分稼働率(%)	59.3	71.5	75.2			
指標及び説明	【指標】文化施設の利用者数			【説明】やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数			
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値				目標値(H32)
			H27	H28	H29	H30	
	人	311,899	309,023	301,354	280,143		321,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の全体の利用者は減少していますが、ウエスタ川越大ホールの区分稼働率は前年度に比して上昇していることから、おおむね順調に推移しています。 やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールについては、老朽化への対応が必要です。 						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の利用者数が増加するよう、各施設の特徴をホームページなどで広報するなど、施設の利用促進に努めます。 老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。 						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施 策 の 内 容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	関係団体と連携し、多数・多様な団体の参加・交流を促し、参加者数の増加に努めます					
平 成 2 9 年 度 績 実	川越市総合文化祭は平成27年度から開催しており、3回目の開催となりました。平成29年度は舞台公演の見直しを行い、参加団体数は減少となりましたが、来場者を含めた全体の参加者数は増加しました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	総合文化祭参加団体数	37	43	40		
現 状 ・ 課 題	参加団体数は40団体程度の参加で推移しており順調に進捗しておりますが、大ホール舞台公演と多目的ホール作品展示の両会場とも訪れる参加者・来場者はまだ少なく、参加団体の交流については改善する必要があります。					
改 善 の 方 策 等	実行委員会を主体として各関係団体と連携し、多種・多様な団体の参加・交流を促すことにより、更なる参加者数の増加に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	B	B	B
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B		
	③文化交流の促進	文化芸術振興課	B		
学 識 経 験 者 等 意 見	なし				

【施策の柱】(5)美術館の充実

細 施 策	① 展覧会等の充実							担当課	担当課評価
								美術館	A
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。								
前年度の改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展(常設展示室、相原求一朗記念室)については、年4回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについても、年4回開催しました。※(春)古伏脇司展、(夏)都築邦春展、(秋)山添潤彫刻展、(冬)コレクションと寄託作品展 ・特別展については、年4回開催しました。※(春)驚きの明治工藝、(夏)名品と出会う、(秋)中林忠良銅版画展、(冬)生誕130年 小村雪岱 								
指標及び説明	【指標】 ①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				【説明】 ①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	① 人	38,934	33,269	41,917	41,431			39,000	
② 人	28,718	23,653	27,819	29,472			30,000		
現状・課題	常設展の実績値については目標値を上回るとともに、特別展の実績値についても昨年度の実績値と比べ上回っており、順調に推移しています。								
改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								

細 施 策	② 創作活動・発表の場の提供				担当課	担当課評価
					美術館	B
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの利用については、さらに多くの団体が利用できるような有効活用に努めていきます。 ・創作室の利用については、新たな利用団体等を獲得すべく、川越市立美術館ホームページ等を通じて周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。 					
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの年間稼働日数については、稼働日数269日／年間で297日となっています。 ・創作室の年間稼働コマ数については、稼働コマ数278コマ／年間稼働コマ数891コマとなっています。 ※なお、創作室の利用団体については、2団体の新規利用がありました(平成29年度特別展関連の実技講座参加者により組織された団体等)。 					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数／年間日数)	81.54%	88.85%	90.57%		
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数／年間コマ数)	26.85%	30.63%	31.20%		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの年間稼働日数については、おおむね順調に進捗しています。 ・創作室の年間稼働コマ数については、進捗があまり順調ではありません。特に、午後5時から午後8時30分までの時間帯の利用がありません。 					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるような有効活用に努めていきます。 ・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。 					

【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								美術館	A
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。								
平 成 2 9 年 度 績 実	○教育普及事業 104事業 延参加者数14,046人 ・主に子ども(中学生以下)が参加できる事業 44事業 延参加者数11,970人 ・主に大人が参加できる事業 24事業 延参加者数592人 ・誰でも参加できる事業 9事業 延参加者数 1,167人 ・教員向け事業 27事業 延参加者数317人 ○上記の内、主な学校教育との連携事業 ・川越市立中学校美術部の祭典 出品生徒数454人 観覧者数1,293人 ・川越市立小学校6年生バス見学 31校 延参加者数2,679人 ・川越市内児童生徒作品展 3作品展 延観覧者数5,072人								
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越市立中学校美術部の祭典の参加校数				【説明】 川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数				
	指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (H32)	
	校	20	H27 21	H28 20	H29 21	H30	H31	H32	22
現 状 ・ 課 題	川越市立中学校美術部の祭典の参加校が昨年に比べ1校増加しました。参加できなかった中学校には美術部がないため、「美術部の」とある以上、参加が難しく、目標の見直しが必要と考えます。多くの教育普及事業が実施できたので順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。								

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	① 展覧会等の充実	美術館	A	A	
	② 創作活動・発表の場の提供	美術館	B		
③ 教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	・創作室を夜間利用して活動する人達というのは働いている人や学生が多いと思われる。そのような人達が利用しないのは活動を行う余裕がない、もしくは、創作室の存在を知らないということが考えられるので、かつてやっていたことをもう一度やってみたいと思ってもらう取組と情報提供に引き続き取り組んでいただきたい。 ・小学校6年生の博物館と美術館のバス見学は、予算的な問題もあると思うが、歴史、文化、芸術に触れる良い機会なので継続していただきたい。				A